

「議員定数」継続審議

住民から要望

定数増が現状維持
あるいは定数削減か？

この度、周防大島町議会の議員の定数を定める条例の改正については、近隣自治体との均衡のみを理由とした安易な定数の削減等を行わないよう、真摯で慎重な検討を行うと共に、当該条例の改正を行う場合には、その根拠及び検討内容について、住民への説明責任が十分に果たされるよう要望がありました。

要望書では、柳井市との均衡から本町の議員定数を決めることは極めて合理性を欠く危険なことであり、安易な削減は健全なる地方自治に弊害をもたらすものであり、多角的な視点から真摯な議論を行い、現状維持あるいは定数増の可能性も含め、定数削減ありきではない。議員定数の決定のための慎重な検討を強く求めるものであります。議会では、先に住民から議員

定数削減の要望も踏まえ、定数増が現状維持あるいは定数削減すべきかを全員協議会で協議しましたが、今後も引き続き検討することになりました。

臨時会概要

平成27年第3回議会臨時会は、11月25日に開催され、専決処分2件、教育委員の任命1件、条例の一部改正1件、全て原案のとおり可決・同意された。

また、久保雅己議長及び松井岑雄副議長の辞職に伴い、それぞれ選挙が行われた。

○人事案件

議長選出

荒川政義議員

副議長選出

尾元 武議員

教育委員会委員の任命

沖廣正義氏（久賀新開西）

（平成27年11月27日）

平成31年11月26日

○条例一部改正

周防大島町病院等事業の設置等に関する条例の一部改正

病理専門医が主に検体の組織・細胞の検査結果を基に病気の種類やがん細胞の型等を診断する病理診断科を設置する。患者を直接診療する科ではなく、標榜することにより、内科・外科系の先生と患者の診断、治療についてより良い医療を提供するため、東和病院及び大島病院に病理診断科を設置するもの。当面は、東和病院で週1回程度行う。



より良い医療体制、東和病院に病理診療科新設

行政報告

廃校の校舎を有効活用
企業誘致対策事業として、一昨年3月に閉校した旧和田小学校施設に民間企業の流通システム開発販売の(株)ビジコム(東京)のサテライト事務所を誘致し、販売時点情報管理(POS)システムの開発などを手掛ける予定。地元からの雇用も計画されている。



企業誘致される旧和田小学校